

南青葉だより 陽だまり

第14号 発行日：2023年3月1日 発行：南青葉台自治会 事務局

歴史探訪ウォーキング『流谷八幡神社～蠟梅の里』

2月6日(月)に流谷八幡神社を訪れ蠟梅の里へ行ってきました。当初1月27日に予定されていましたが、天候不良の為に再々延期し、やっと当日を迎えました。

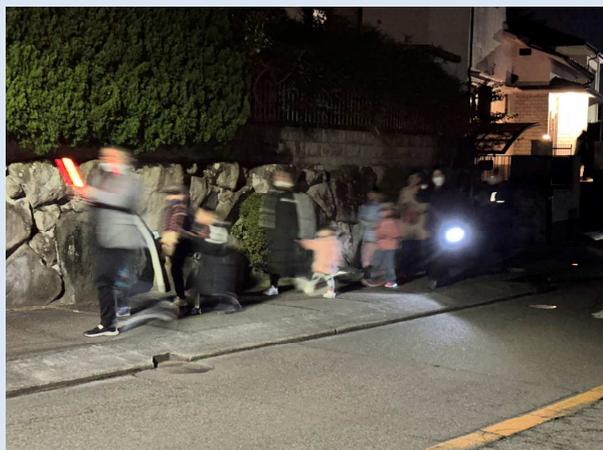
残念ながら目的の花の見頃はピークを過ぎてしまっていたものの、お天気に恵まれ風もなく、集合時は少し冷たく感じましたが、バスと電車を使って、天見駅からウォーキングを開始。同じ地域に住む住民ながら顔も名前も初めてでも、皆さんあの人この人と言葉を交わし合いながら交流を深めておられました。

途中の流谷八幡神社の鉄製湯釜は府の文化財、境内の樹齢300年を越える「いちよう」の大木は府の天然記念物です。歩くにつれて上着を1枚脱がれる人を、何人か見かけました。蠟梅の里で皆さん楽しまれ、記念に集合写真を撮りました。帰りは二手に分かれ、元来たルートに戻る人、健脚な人たちは、予定を変更して行司河原分岐から加賀田川沿いを歩いて帰られる人、皆様のお元気な姿にたくさんのパワーを頂きました。次回のウォーキングは4月頃を予定しています。貴方の参加をお待ちしております。(一般参加13名、スタッフ5名)



歳末夜警を行いました

令和4年12月27日に歳末夜警を行いました。「子ども火の用心」として、大人たちと一緒に元気よく町なかを歩きまわりました。当日は、午後7時に自治会館に集まり4つのコースに分けて、子どもたちは柏子木やカスタネットを叩きながら「火の用心！！」と何度も声を張り上げながら、まちの安全を願って歩きました。一生懸命頑張っている姿がとても印象的でした。参加して頂いた皆様、有難うございました。〔参加者50名(子供20名、大人30名)〕



自治会の活動状況と予定

1月14日	4組織連絡会
1月29日	新役員臨時会議
2月 3日	メルカリ講座①
2月 5日	役員会
2月 6日	歴史探訪ウォーキング
2月10日	メルカリ講座②
2月11日	4組織連絡会
2月12日	新班長委員会決定会
2月12日	環境衛生委員会
2月16日	廃品回収
2月19日	広報委員会
2月25日	空き家対策説明会
3月 5日	会館委員会(予定)
3月 5日	防犯委員会(予定)
3月12日	役員会(予定)

自治会公式



始動!

今年度より、回覧板の資料は、これまでの手回しに加え、公式LINEを使って皆さんのスマートフォンに送信することにしました。

友達追加は簡単です!

このQRコードをスマートフォンのカメラ機能でかざしてください。

かざすと、「南青葉台自治会」というグループが表示されますので、「友達追加」ボタンを押して操作を進めてくださいね。



編集後記

明治時代から約140年間、日本での成人年齢は20歳と民法で定められていましたが、2022年に民法が改正され、成人年齢が20歳から18歳に変わりました。2023年の新成人のうち20歳は全国で117万人でしたが、平成が始まった1989年は186万人、前回の大阪万博の1970年は246万人であったことを考えると大幅に減少しています。南青葉台の新成人(18歳から20歳)は25名で、このうち、20歳の申請のあった方にお祝いをお渡ししました。

加賀田地区の民話 第14話

今年の立春は、2月4日でした。そして、その前日が、節分つまり年越しです。皆さん、節分の日、季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て「鬼は外！福は内！」と豆まきをされましたか？歳の数だけ豆をお食べになりましたか？そんなに食べられないわと言う場合は、「福茶」（塩昆布、梅干、豆まきに使った福豆3粒を湯のみに入れ熱湯を注いだもの）を飲めばいいそうです。そして、恵方巻、今年の恵方は、南南東でした。今回は、節分のお話「年越し」をご紹介します。

「年越し 節分の年越しには豆を年の数だけ食うな。それと、門口とか門とかゆうところに鬼の入ってこんように、柵の葉を枝ごしにしゅっと挿して、鯛の頭を箸にさしますわ。鬼を防ぐとゆうようなことをな、わたしら子供の時分におやじがようやつとったですがな。それ、最近はしないけどもね。柵ゆうたら、ここのことばで「メツコ（目突く）ハナツコ（鼻突く）」とかゆうね。そうそう、メツコ、ハナツコちゅうわ。あれエ、葉の先に棘があるからな。（中略）あれはイワイギ（祝い木）ですな、だいたい。けども、あれ、庭師なんかに聞くと、柵の木とかゆうもんは、厄を防ぐとかゆう意味で、庭の鬼門に植えるんだとかゆいますな。へて、庭師がゆうのには、うしとら（北東）のカドには柵の木を植える。へて、ひつじさるのカドに植える木はヤツデを植えるようにちゅうてね。あれはなでかゆうと、ヤツデは鬼門を八つの手で防いでるとゆうのでね、そう聞いてますな。」

平成4年刊行「加賀田地区の民話」市教育委員会発行より

メルカリ講座開催

2月3日と2月10日の2回に分けて、スマホを活用して「不用品を売買する」メルリアプリの使い方を学びました。参加された皆さんは、知識や情報を習得しようと熱心に講師の話に耳を傾けながら、ご自分のスマホを操作しておられました。参加者の方々から『大変参考になりました』『細かく教えてもらい分かりやすかった』『良くわかりました、買い物が出来そう』と嬉しいお言葉を聞かせていただきました。



令和5年度の自治会役員について

令和5年度の自治会役員（予定者）については、下表のとおりです。正式決定は、総会での承認後となりますが、自治会運営について本年度同様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会長	大給 龍夫	広報委員長	松成 佳樹
副会長	谷頭 映子	会館委員長	山下 佳子
事務局長	佐伯 明美	防犯委員長	丹田順一郎
会計	山口 順平	環境衛生委員長	吉本 義幸
デジ外委員長	加部 望		

～ 自動車文庫へのお誘い ～

10年に一度は来るといふ大寒波のさなかの1月25日（水）、自治会館駐車場に自動車文庫を、お尋ねしました。

自動車到着前に既にお一人、そして、自動車到着後、三々五々来られた方の中から5名の方に「Q、あなたの生活の中で、自動車文庫は？」とお尋ねしました。

- 1さん：私の図書室、私の贅沢な本棚。生活の一部。主に文学書・実用書
無いものは注文して、次回に持って来ていただいています。毎回利用。
- Tさん：いつもそばに本があるのが嬉しい。キックス（図書館）まで行けないので
ありがたい。小説・シニア向けの本・絵本等 公園の時から毎回利用
- 2さん：楽しみ。一回に2、3冊。主に時代小説。毎回利用。
- Iさん：生活の一部。文学書・パソコン関係・英文の童話絵本（英文の多読のため
に）毎回利用
- Nさん（坊ちゃん2人とご一緒のお母さん）：子どもの文庫。絵本・児童書。2人の
お子さんが書架からそれぞれ思い思いの本を取り出しページを繰って
おられる姿が微笑ましかったです。毎回利用。

次に、自動車に同乗されておられる司書の杉江さんにお話をお伺いしたところ、
「駐車場所を公園から青葉台会館駐車場に変更されてから利用者が増えて喜んで
います。図書館の仕事には、本・紙芝居・CD・DVDの貸し出し、読みたい本の予約のほかに、
レファレンスサービス※もありますので、是非ご利用ください。」とのことでした。

※知りたいことを、図書・雑誌などから探すためのお手伝いをするサービス

例①「栗の渋皮煮の作り方が載っている本はあるか？」の問い合わせに対し、7冊の
を回答紹介

例②「柿の種類について分る本はあるか？」の問い合わせに対し、4冊の本を回答・
紹介。ネットやスマホで調べることも出来るが、それらの情報は正誤混在して
いるので、取舍選択が困難。

現在人気の本（令和5年2月1日現在）

- 1位 「三千円の使いかた」原田ひ香 2位 「白鳥とコウモリ」東野圭吾
3位 「52ヘルツのクジラたち」町田そのこ



図書館司書 杉江さん



ドライバー 山崎さん



自動車文庫の様子（会館駐車場）